

政策 03 安全に安心して暮らせるまちづくり

施策 01 地域コミュニティ活動の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	地域づくりに参加することで、地域の連携が深まっています。

施策の成果状況と評価

指標①	地域で町内会・行政区の活動が機能していると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【企画政策課】	%	65.0	60.0	-	→
評価	<p>(状況) 地域で町内会・行政区の活動が機能していると思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、長く続く町内会・行政区のつながりに加え、ふるさとづくり支援事業等の取り組みが、一定程度理解され、地域の課題解決に結びついているため、地域で町内会・行政区の活動が機能していると思う市民の割合は、令和2年度と同程度で推移していると推測されます。</p>						目標達成度

指標②	市民・行政・地域がそれぞれ協力しあって地域課題に取り組んでいると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【企画政策課】	%	71.2	68.3	-	→
評価	<p>(状況) 市民・行政・地域がそれぞれ協力しあって地域課題に取り組んでいると思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、ふるさとづくり支援事業等を活用し、それぞれの地域が課題解決に取り組んでいることから、市民・行政・地域がそれぞれ協力しあって地域課題に取り組んでいると思う市民の割合は、令和2年度と同程度で推移していると推測されます。</p>						目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 自治会活動の活性化
- 基本事項 02 市民活動の推進
- 基本事項 03 人権意識の向上と男女共同参画社会の推進

基本事項01 自治会活動の活性化

指標①	町内会・行政区活動に参加している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画政策課】	%	41.1	35.3	-	➔	---
評価	<p>(状況) 町内会・行政区に参加している市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、自治会加入率の低下や新型コロナウイルス感染症の影響により地域活動が制限されたことから、令和2年度と比較して割合は低下していると推測されます。</p>	(%)					目 標 達成度
							---

基本事項01 自治会活動の活性化

指標②	自治会加入率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画政策課】	%	74.5	71.7	70.5	75.0	☂ (低下)
評価	<p>(状況) 自治会加入率は70.5%で、前年度と比較すると1.2ポイント減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると4.0ポイント減少しています。 (原因) アパート入居者の加入率の低さや若い世代の未加入者が増えていることなどのほか、世帯分離などによる世帯数の増加が主要因と考えられます。</p>	(%)					目 標 達成度
							■ (低)

基本事項01 自治会活動の活性化

指標③	集会施設を修繕・機能改善した自治会数(累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画政策課】	自治会	24	79	111	75	☀ (向上)
評価	<p>第8次総合計画初年度 (H30) までの数値は単年度の実績値 (状況) 集会施設を修繕・機能改善した自治会数は111自治会で、前年度と比較すると32自治会增加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると87自治会增加し、目標値を達成しています。 (原因) 冷暖房設備の新規設置や修繕の支援項目などを追加するなど、ニーズに対応した支援を行っていることが要因と考えられます。</p>	(自治会)					目 標 達成度
							🏰 (達成)

基本事項02 市民活動の推進

指標①	市民活動に参加している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画政策課】	%	7.4	6.1	-	➔	---
評価	<p>(状況) 市民活動に参加している市民の割合は、実績値を2年に1度実施している市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民活動が制限されたことから、割合は低下していると推測されます。</p>	(%)					目 標 達成度
							---

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 自治会活動の活性化
- 基本事項 02 市民活動の推進
- 基本事項 03 人権意識の向上と男女共同参画社会の推進

基本事項02 市民活動の推進

指標②	市民活動における施設の年間利用者数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【企画政策課】	人	190,513	135,058	170,804	260,000
評価	<p>(状況) 市民活動における施設の年間利用者数は170,804人で、前年度と比較すると35,746人増加していますが、総合計画基準値 (H28) と比較すると19,709人減少しています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、市民活動や施設の利用時間などが制限されたことが主な要因と考えられます。</p>						目標達成度 ---

基本事項03 人権意識の向上と男女共同参画社会の推進

指標①	地域で男女が平等に社会参画できていると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【企画政策課】	%	59.4	58.2	-	→
評価	<p>(状況) 地域で男女が平等に社会参画できていると思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、国、県及び市のほか、マスメディアでも広く周知されるようになり、男女が平等に社会参画することへの理解は、一定程度浸透してきているものと考えられます。</p>						目標達成度 ---

基本事項03 人権意識の向上と男女共同参画社会の推進

指標②	市や人権擁護委員が行う人権教室の参加人数（累計）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【企画政策課】	人	547	2,586	3,768	3,200
評価	<p>第8次総合計画初年度 (H30) までの数値は単年度の実績値</p> <p>(状況) 人権教室及び人権セミナーへの参加人数は1,182人であり、前年度の1,071人から111人増加しました。</p> <p>(原因) 人権教室はこれまで小・中学校を中心に開催してきましたが、新たに社会教育団体も加え開催したことが要因です。</p>						目標達成度 (向上) (達成)

政策 03 安全に安心して暮らせるまちづくり

施策 02 防災・減災対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	防災・減災の取組によって被害を抑えられます。

施策の成果状況と評価

指標①	被災世帯数・被災事業所数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【市民安全課】	件	9	979	1,676	0
評価	(状況) 被災世帯数・被災事業所数は1,676件で、前年度と比較すると697件増加し、総合計画基準値 (H28) と比較しても1,667件増加しています。内訳は火災22件、地震等自然災害1,654件です。 (原因) 令和3年2月と令和4年3月に発生した福島県沖地震により被災を受けたことによるものです。						目標達成度 (低)

指標②	災害・火災による死亡者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【市民安全課】	人	2	3	2	0
評価	(状況) 災害・火災による死亡者数は2人で、前年度から1人減少し、総合計画基準値 (H28) と比較して増減はありませんでした。2人とも建物火災による死者です。 (原因) 住宅用火災警報器が未設置であったと思われる、これが死亡要因の一つと考えられます。						目標達成度 (低)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 地域防災力の向上
- 基本事項 02 災害時の避難・支援体制の確立
- 基本事項 03 治水・浸水対策の推進
- 基本事項 04 急傾斜地崩壊防止施設の整備
- 基本事項 05 消防体制の充実

基本事項01 地域防災力の向上

指標①	市民の防災対策の平均実践項目数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	項目	2.65	2.76	-	→	
評価	<p>(状況) 市民の防災対策の平均実践項目数は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。東日本台風や福島県沖地震等の激甚化・頻発化する自然災害に備えるため、市民一人ひとりの防災意識の醸成に努めています。</p>						目標達成
		---					

基本事項01 地域防災力の向上

指標②	自主防災組織率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	%	50.9	57.8	57.8	80.0	
評価	<p>(状況) 自主防災組織率は57.8%で、総合計画基準値 (H28) と比較すると6.9ポイント増加していますが、前年度から増減がなく目標達成が困難な状況です。 (原因) 全国的な自然災害の発生により自主防災組織の必要性は認識されていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、人の往来や集会が制限され、組織結成の機運が縮小していることが要因と考えられます。</p>						(向上) 目標達成
		(低)					

基本事項01 地域防災力の向上

指標③	災害等による消防団員の平均出勤率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	%	62.2	68.0	77.1	72.0	
評価	<p>(状況) 災害等による消防団員の平均出勤率は77.1%で、前年度と比較すると9.1ポイント増加しています。 (原因) サラリーマン団員が8割を占めるなか、災害時に全団員が出勤することは困難ですが、団員の士気と責任感により支えられているものと考えられます。</p>						(向上) 目標達成 (達成)

基本事項01 地域防災力の向上

指標④	避難行動要支援者避難支援プラン (個別計画) における避難支援者登録割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【長寿福祉課】	%	56.0	53.6	68.8	65.0	
評価	<p>(状況) 避難行動要支援者避難支援プラン (個別計画) における避難支援者登録割合は68.8%で、前年度と比較すると15.2ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較し12.8ポイント増加しました。登録者数は2,547人で、前年度から95人減少でほぼ横ばいだったのに対し、避難支援者登録者数は1,752人で、前年度から335人増加しました。 (原因) 登録者のうち避難支援者の登録がなかったものに対し、登録を働きかけたためと考えられます。</p>						(向上) 目標達成 (達成)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 地域防災力の向上
基本事項 02 災害時の避難・支援体制の確立
基本事項 03 治水・浸水対策の推進
基本事項 04 急傾斜地崩壊防止施設の整備
基本事項 05 消防体制の充実

基本事項02 災害時の避難・支援体制の確立

指標①	食糧の備蓄量	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	食	18,000	18,000	18,000	18,000	(向上)
評価	(状況) 食糧の備蓄量は18,000食で、前年度と総合計画基準値 (H28) の18,000食を維持しています。備蓄以外に、民間企業等と災害時応援協定を締結しており、災害時における食糧確保体制を整えています。 (原因) 食糧備蓄量に変化が無い理由は、災害時の備蓄食糧数を決め、備蓄食糧の賞味期限切れと新規購入量がほぼ同数であり、備蓄食糧の在庫数に変化が生じないためです。						目標達成度 (達成)

基本事項02 災害時の避難・支援体制の確立

指標②	災害情報伝達設備・手段の不具合・トラブル件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	件	2	1	1	0	(向上)
評価	(状況) 災害情報伝達設備・手段の不具合・トラブル件数は1件で、前年度と同数であり、総合計画基準値 (H28) と比較すると1件減少しています。 (原因) トラブル件数は、落雷により防災行政無線拡声子局1基が放送不能となったものですが、現在は、復旧しています。						目標達成度 (中)

基本事項03 治水・浸水対策の推進

指標①	内水対策地区における床上浸水家屋数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	件	0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 内水対策地区における床上浸水家屋数は0件で、被害はありませんでした。 (原因) 台風等により、浸水被害が想定される6地区について、排水ポンプの設置などを行い、内水排水体制を整えましたが、浸水に至るまでの異常出水が無かったことによるものです。						目標達成度 (達成)

基本事項03 治水・浸水対策の推進

指標②	雨水計画区域内の管きょや内水排水施設の整備率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	88.4	89.7	89.7	91.6	(向上)
評価	(状況) 雨水計画区域内の管きょや内水排水施設の整備率は89.7%で、前年度から増減はありませんが、総合計画基準値 (H28) と比較すると1.3ポイント増加しております。 (原因) 令和3年度は西部2号排水区 (館取町地内) の工事の一部に着手しましたが、工事が完了していないことから整備率に増減はありませんでした。令和4年度の整備完了後には整備率が向上します。						目標達成度 (中)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	地域防災力の向上
基本事項 02	災害時の避難・支援体制の確立
基本事項 03	治水・浸水対策の推進
基本事項 04	急傾斜地崩壊防止施設の整備
基本事項 05	消防体制の充実

基本事項04 急傾斜地崩壊防止施設の整備

指標①	急傾斜地対策事業として取り組む地区のうち、整備が完了した地区の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	88.9	100.0	100.0	100.0	(向上)
評価	(状況) 急傾斜地対策事業として取り組む地区のうち、整備が完了した地区の割合は、平成30年度に100%となり、目標値を達成しています。 (原因) 平成22年度から福島県が進めてきた急傾斜地対策事業により、日向地区の急傾斜地対策が完了し、須賀川地域5地区、長沼地域4地区計9地区の整備が完了したためです。						目標達成度
							(達成)

基本事項04 急傾斜地崩壊防止施設の整備

指標②	日向地区における危険が回避された家屋の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	36.4	100.0	100.0	100.0	(向上)
評価	(状況) 日向地区における危険が回避された家屋の割合は、平成30年度に100%となり、目標値を達成しています。 (原因) 平成30年度に家屋3戸の擁壁工事等を実施し、日向地区内の危険区域にある家屋10戸全ての危険が回避され、整備が完了したためです。						目標達成度
							(達成)

基本事項05 消防体制の充実

指標①	災害等現場への平均到着時間	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	分	12分44秒	10分50秒	11分05秒	12分30秒	(向上)
評価	(状況) 災害等現場への平均到着時間は11分05秒で、前年度と比較すると15秒遅くなりましたが、総合計画基準値 (H28) と比較すると1分39秒短縮され、目標値を達成しています。 (原因) 日頃の訓練や、速やかな連絡体制が構築されていることによるものです。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     グラフ表示はありません                 </div>					目標達成度
							(達成)

政策 03 安全に安心して暮らせるまちづくり

施策 03 暮らしの安全対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	暮らしの安全に対する意識高揚が図られています。

施策の成果状況と評価

指標①	市内の人身事故発生件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【市民安全課】 1月から12月の暦年データに基づくものです。	件	221	81	112	200
評価	<p>(状況) 市内の人身事故発生件数は112件で、前年度と比較すると31件増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると109件減少しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 前年度に比べ発生件数が増加したのは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策による移動制限が緩和され、通勤・通学や帰宅時間帯の交通量増加が要因の一つとして考えられます。実績値は目標値を達成しており、警察署の取締強化や交通安全関係団体等が連携して実施する交通安全啓発運動などから、交通安全意識の醸成が図られていることが要因と考えられます。</p>						☀️ (向上)
							🏰 (達成)

指標②	刑法犯認知件数 (須賀川警察署管内)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【市民安全課】 1月から12月の暦年データに基づくものです。	件	540	347	346	➡️
評価	<p>(状況) 刑法犯認知件数(須賀川警察署管内)は346件で、前年度と比較すると1件減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると194件減少しています。刑法犯認知件数のうち、窃盗犯が220件で全体の63.6%を占めています。</p> <p>(原因) 警察署による取り締まりはもとより、児童・生徒による少年非行防止活動や関係団体等による啓発活動により、犯罪防止が図られたことが要因と考えられます。また、万引きや車上荒らしなどの窃盗犯は再犯率が高い傾向にあることから、全体に占める割合が高いものと考えられます。</p>						☀️ (向上)
							🏰 (達成)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。



□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	交通安全意識の高揚
基本事項 02	交通安全施設の整備
基本事項 03	子どもの登下校の安全確保
基本事項 04	犯罪に強い地域づくり
基本事項 05	消費生活意識の高揚

基本事項01 交通安全意識の高揚

指標①	市内の交通違反による交通事故発生件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	件	167	42	36	150	(向上)
評価	1月から12月の暦年データに基づくものです。						目標達成
	<p>(状況) 市内の交通違反による交通事故発生件数は36件で、前年度と比較すると6件減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると131件減少しており、目標値を達成しています。主な違反としては、前方不注意が12件で全体の約33%を占めており、次いで信号無視、歩行者妨害等の順になっています。</p> <p>(原因) 警察署の取締強化や交通安全関係団体等が連携して実施する交通安全啓発運動などにより、交通安全意識の向上が図られていることが要因と考えられます。</p>						(達成)

基本事項02 交通安全施設の整備

指標①	交通安全施設を整備、機能改善した箇所数(累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【道路河川課】	箇所	122	239	263	222	(向上)
評価							目標達成
	<p>(状況) 交通安全施設を整備、機能改善した箇所数(累計)は263箇所、前年度と比較すると24箇所増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると141箇所増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 令和3年度は、路面のカラー化や区画線の引き直しなど、24箇所の交通安全施設整備を実施したためです。</p>						(達成)

基本事項03 子どもの登下校の安全確保

指標①	登下校時の事件・事故件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【学校教育課】	件	11	14	15	5	(低下)
評価							目標達成
	<p>(状況) 登下校時の事件・事故件数は15件で、前年度と比較し1件増加しており、総合計画基準値(H28)との比較では4件の増加であり、順調ではありません。</p> <p>(原因) 各学校において、通学路の危険箇所の点検を関係機関・団体等と合同で行ったり、警察署員や交通教育専門員を招いて交通教室を実施し、安全な登下校についての指導を行ったりしていますが、ドライバーの不注意によるもらい事故や、保護者の車に同乗中の事故などもあることから、広く交通安全に対する意識を高めていく必要があります。</p>						(低)

基本事項04 犯罪に強い地域づくり

指標①	防犯対策を実践している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	%	52.0	52.1	-	➔	---
評価							目標達成
	<p>(状況) 防犯対策を実施している市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、防犯に関する意識啓発や自主的な防犯活動を行う町内会等への防犯ジャンパー貸与などを通じて、防犯意識の醸成が図られるよう継続して取り組んでいます。</p>						---

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	交通安全意識の高揚
基本事項 02	交通安全施設の整備
基本事項 03	子どもの登下校の安全確保
基本事項 04	犯罪に強い地域づくり
基本事項 05	消費生活意識の高揚

基本事項04 犯罪に強い地域づくり

指標②	防犯施設を整備、機能改善した箇所数（累計）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	件	8,661	8,938	9,000	9,000	(向上)
評価	<p>(状況) 防犯施設を整備、機能改善した箇所数（累計）は9,000件で、前年度と比較すると62件増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると339件増加しており、目標を達成しています。</p> <p>(原因) 防犯灯は夜間における犯罪、事故等の発生を抑制する効果が認められることから、市民生活の安全に資するため、防犯灯の効果的な設置を行ったためです。</p>					目標達成度	
		(達成)					

基本事項05 消費生活意識の高揚

指標①	製品安全3法に基づく立入検査による違反件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	件	0	0	0	0	(向上)
評価	<p>(状況) 製品安全3法に基づく立入検査による違反件数は0件でした。電気用品安全法に基づく「直流電源装置等」の立入検査を3事業所、家庭用品品質表示法に基づく「繊維製品等」の立入検査を1事業所、消費生活用製品安全法に基づく「石油給湯器等」の立入検査を1事業所で実施しました。</p> <p>(原因) 各事業者が法令の目的を理解し、適正に遵守できているためと考えられます。</p>					目標達成度	
		(達成)					

基本事項05 消費生活意識の高揚

指標②	消費トラブルの相談・解決方法の認識数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	項目	1.99	2.03	-	→	---
評価	<p>(状況) 消費トラブルの相談・解決方法の認識数（7項目中）は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、消費生活に関する各種相談窓口の案内を市ホームページや広報誌に掲載し周知を図ることにより、消費者トラブルの相談・解決方法の認識の向上に努めています。</p>					目標達成度	
		---					

政策 03 安全に安心して暮らせるまちづくり

施策 04 公共交通網の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	公共交通網が充実し、交通空白地域が減少します。

施策の成果状況と評価

指標①	公共交通が利用しやすいと思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【市民安全課】	%	67.2	71.1	-	→
評価	(状況) 公共交通が利用しやすいと思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、令和2年度時点で目標値の69.0%は達成しており、令和3年度中に公共交通の利用促進を図るために、須賀川市公共交通マップを作製し、全戸配布したことから、割合が増加しているものと考えられます。						目標達成度

指標②	公共交通の乗車人員 (参考値)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【市民安全課】	人	1,165,758	1,068,041	855,959	→
評価	(状況) 公共交通の乗車人員は855,959人で、前年度と比較すると212,082人減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると309,799人減少しており、順調ではありません。内訳は、路線バスが173,742人、循環バスが52,361人、乗合タクシーが3,881人、東北本線須賀川駅の乗車人員が625,975人となっています。 (原因) 利用者は年々減少傾向にあり、さらに新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、不要不急の外出制限等が継続したことで、利用者が大幅に減少したことが要因と考えられます。						目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 交通弱者や交通不便地域の解消

基本事項 02 公共交通の利便性向上

基本事項01 交通弱者や交通不便地域の解消

指標①	交通手段がなくて困っている市民割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	%	6.5	5.2	-	→	---
評価	(状況) 交通手段がなくて困っている市民割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、令和2年度時点で、目標値を達成しており、令和3年度時点で乗合タクシーの運行地域カバー率や市内循環バスの運行便数等を維持している状況にあることから、同水準で推移していると考えられます。						目標達成度
		---					

基本事項01 交通弱者や交通不便地域の解消

指標②	乗合タクシーの運行地域カバー率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	%	64.6	65.8	65.8	65.8	(向上)
評価	(状況) 乗合タクシーの運行地域カバー率は65.8%で、前年度と同数であり、総合計画基準値 (H28) と比較すると1.2ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 乗合タクシーは、路線バスの代替手段であり、平成30年度から東山エリアの運行を開始し、エリア拡大をしましたが、令和元年度以降変更ありませんでした。						目標達成度
		(達成)					

基本事項02 公共交通の利便性向上

指標①	各種バス年間乗車人員 (参考値)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	人	323,703	246,061	229,984	320,000	---
評価	(状況) 各種バス年間乗車人員は229,984人で、前年度と比較すると16,077人減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると93,719人減少しており順調ではありません。内訳は路線バスが173,742人、循環バスが52,361人、乗合タクシーが3,881人となっています。 (原因) 利用者は年々減少傾向にあり、さらに新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、不要不急の外出制限等の状況が継続したことで、利用者が大幅に減少したことが要因と考えられます。						目標達成度
		---					

基本事項02 公共交通の利便性向上

指標②	須賀川駅の1日平均乗車人員 (参考値)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【市民安全課】	人	2,307	2,252	1,715	→	---
評価	(状況) 須賀川駅の1日平均乗車人員は1,715人で、前年度と比較すると537人減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると592人減少しています。 (原因) 主な利用者は、通勤、通学者であると推測され、人口減少、少子高齢化が進展する中、特に年々学生数が減少傾向にあることも要因にあると考えられます。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、不要不急の外出制限等が継続したことで利用者が大幅に減少したことが要因と考えられます。						目標達成度
		---					